

ホオジロ

(2004年6月11日撮影)

おお 大きさはスズメくらい。鳴き声をよく、「一筆啓上
つかまつ そうろう てがみ さ い
仕り候 (お手紙を差し上げます)」と言っている
ひょうげん
みたいだ、と表現されます。木のてっぺんで「チチッ
な み
チチッ」と鳴いているのをよく見かけます。

ほっぺた (ほお) が白いので「ほおじろ」です。正
しろう しょう
めん からみると、歌舞伎のお化粧みたいに見えます。

じめん うえ か くさ す つく
地面の上に枯れ草で巣を作るため、ヘビヤカラスに
ねら おやどり とつぜん
タマゴやヒナが狙われます。そんなとき親鳥は、突然
は す はな
バタバタと羽ばたきながら、ゆっくり巣から離れます。
ぎしょうこうどう じぶん きず
これは「擬傷行動」といって、自分がケガをして傷つ
てき ほう つか
いているふりをして、敵に「ケガをしている方が捕ま
おも てき とお
えやすい」と思わせて、タマゴやヒナから敵を遠ざけ
ようとしているのです。

ひと おな あいじょう ふか とり
人と同じで、とても愛情が深い鳥なのです。

○よく会える時期：1年中

○よく会える場所：やすらぎの森、芳の平など

